

市政の振興や発展に尽力した功労者を表彰



市政功労者 19 人、3 団体を 7 月 1 日に表彰

市は毎年、市政の振興や発展などに貢献した人や団体を市政功労者として表彰しています。今年は、7 月 1 日に柳川庁舎で表彰式を実施。長年、市議会議員や行政区長を務めた人や市に多額の寄付をした人など、19 人、3 団体を表彰しました。表彰した人や団体は次のとおりです（敬称略）。

■永年在職

▷市議会議員 20 年＝高田千壽輝、荒木憲▷行政区長在職 25 年＝吉原哲▷同 20 年＝大橋三俊▷同 15 年＝江口雅信▷同 10 年＝岡崎晃、吉開豊、姉川章二、橋本賢、山田正明▷固定資産評価審査委員会委員 10 年＝川口敬司、山田敏昭

■市の公益のため多額の金品の寄付

▷福祉事業のための寄付＝松本勝男▷教育の振興発展のための寄付＝（公財）緒方記念科学振興財団（理事長緒方祐介）、学校法人西勝寺三橋大谷幼稚園（理事



7 月 1 日に実施した表彰式の出席者

長橋本融宣)

■市の公益および振興発展に尽力し功績顕著

加藤君代（柳川人権擁護委員協議会副会長）、山口義行（東宮永地区水路委員長）、白谷宣夫（大和校区公民館長）、江崎勝規（六合校区公民館長）、山田三代子、こっぱりー運営委員会（会長小森喬介）、富永諭（市政倫理審査会委員）

【問】市人事秘書課秘書係（☎ 77・8401）

住宅用火災警報器を設置しましょう



設置が困難な高齢者などは消防職員が支援します

寝室への住宅用火災警報器の設置は必須

住宅火災で死亡した原因で最も多いのが「逃げ遅れ」です。特に深夜の就寝中で火災に気づかないことが大きな要因となっています。就寝している人にいち早く火災を知らせる住宅用火災警報器は市の火災予防条例で設置が義務化されています。全ての寝室や階段室に設置義務がありますが、一部分しか設置されていない住宅が多くあるのが現状です。逃げ遅れを防ぎ、大切な命と財産を守るためにも必ず設置してください。

住宅用火災警報器の取り付けを支援

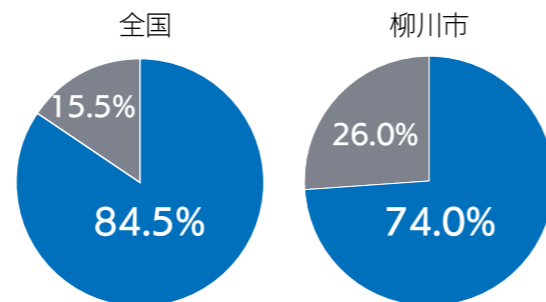
火災警報器の設置が困難な高齢者などを対象に、消防職員が取り付けを支援します。火災警報器やネジなどは各自で用意してください。詳しくは市消防本部予防課へお問い合わせください。

【問】同課（☎ 74・0121）



住宅用火災警報器設置率（7 月現在）

■設置していない ■設置している



10秒で完了 住宅用火災警報器の点検方法

本体のボタンを押すか、ひもを引いて点検。正常な場合、音声や警報音が鳴ります。



2023 年の観光動態調査結果を発表

観光入込客数は前年比 1.8 倍の 123 万 4800 人 宿泊客数は 12 万人を超え過去最高を記録

市は 2023 年観光動態調査結果を発表しました。観光入込客数と観光消費額はコロナ前の 2019 年の水準まで回復。川下りの利用客数はコロナ前の水準を上回りました。また、宿泊客数は過去最高の 12 万人を記録。外国人観光客は大幅に増加し、コロナ禍以降で初めて 10 万人を超えました。



外国人観光客の入国緩和が増加の要因

観光入込客数は、123 万 4800 人と前年の 68 万 6600 人から 1.8 倍に増加。観光消費額は、64 億 4 万円で、前年と比べて 1.6 倍に増加となりました。宿泊



川下りの利用客数は前年比 2.5 倍の 38 万人を超えた

客数は 12 万 2 人となり過去最高となりました。1 人当たりの消費額は 5183 円で、統計開始以来最高を記録した前年と比べて 13.4% 減。これは、日帰り観光の割合が増加したことや、全国旅行支援などの助成内容の変化により、単価の高い宿泊の消費が下がったことが要因です。また、柳川観光の柱となっている川下りの利用客数は、38 万 6031 人。利用割合の高い外国人観光客の回復が主な要因です。外国人観光客数は、14 万 9861 人で前年と比べて約 10 倍となりました。これは、2022 年まで実施されていた外国人観光客の入国制限が段階的に緩和され、2023 年 4 月から各国より自由に来訪できるようになったことが要因となっています。

柳川観光 2025 指針を基に受入環境整備を推進

現在、観光業は人材不足や物価高騰の影響などの課題を抱えています。そこで市は、2023 年度に策定した「柳川観光 2025 指針」に沿って受入環境を整備するために DX を用いた多言語化の推進などを今後計画しています。また、国や県と連携を図りながら、3 大都市圏に集中しているインバウンドの取り込みや観光コンテンツの高付加価値化、着地型商品の多様化と集客力の向上、滞在時間の延長、観光消費額増加などに取り組んでいきます。

【問】市観光課おもてなし推進係（☎ 77・8564）

潮風を受けてあまーいブドウ育ってます

遠方からリピーター続出 毎年大人気の柳川ブドウ 8 月 8 日販売開始

8 月 8 日から柳川の観光ぶどう園が開園します。干拓地が広がる両開地区は、有明海に面しているため土壌に塩分が多く、太陽と潮風を浴びて甘いブドウ（巨峰）が育つのが特徴です。ここでしか味わえないブドウを求めて、毎年遠方から買いに来るリピーターも。開園期間中は、ブドウの販売はもちろん、収穫体験もできます。天候や収穫の状況によって閉園することがあります。最新情報は、柳川むつごろう会の公式サイトで確認してください。



●開園期間 8 月 8 日（木）～ 8 月下旬
●時間・場所 ▷販売＝午前 10 時～午後 3 時、柳川む

柳川ブドウの特徴

- とにかく **甘い**
糖度 20 を超えることも
- とにかく **おいしい**
甘さと酸味のバランスが絶妙



つごろうランド▷収穫体験（要予約）＝午前 8 時 30 分～11 時 00 分（8 月 17、18 日）、橋本町ぶどう園

●料金 1kg 当たり 1300 円
【問】柳川むつごろうランド（午前 9 時～午後 5 時、月曜定休、☎ 72・0819）